

傾いたページ

斜めに傾いたままの
その本のページを眺めている

文字で書き記された海景
それに注がれていた視線を辿る

かすかな疼痛が刺さり
次第次第に私自身のものとなってゆく

視線が海景との境に見出したものこそ
すなわち、この文字を受精させたもの

陽光と泡沫との邂逅が生み出すもの
ひらひらとした更紗のヴェール

視線が吸い込まれようとする
じりじりと吸い寄せられてゆく

しかし、そのたびに裏切られる
雲と、風こそ知らぬ軽いひと薙ぎで

さまよい、慄える現実の「我」が
返し波とともに砂の上を遠くへ引き摺られてゆく

この本も恐らくそのようにして
するりと傾いたものにちがいない

喪失の鈍い痛みが散らばってゆく
薄められてゆく

そのままに筆が執られ
記されてゆく

そうした本の文字を追ってゆく
傾いたままのページを眺めている

(2005.2.13)